

お知らせ

TEL : 0832-86-5111, ext 338

FAX : 0832-86-7432

e-mail : tetu@fish-u.ac.jp

平成 19 年度九州沖縄地区合同シンポジウム
(日本海洋学会西南支部・海洋気象学会・水産海洋学会
合同シンポジウム)

共 催 : 水産大学校

テーマ : 「沿岸海洋モニタリングの現状と課題」

日 時 : 平成 19 年 12 月 6 日 (木)

場 所 : 水産大学校

コンビナー : 滝川哲太郎 (水産大学校)

鬼塚 剛 (水産大学校)

講演時間 : 招待講演 30~40 分 (1~2 題),

一般講演 15~25 分 (8~10 題)

(講演者数により変更する場合があります)

参加登録料 : 無料

講演要旨

締 切 : 平成 19 年 11 月 16 日 (金) 必着

(送付先は講演申込先と同じ)

書 式 : 日本海洋学会の研究発表大会時の講演要
旨に準ずる

・ワードプロセッサを用い, A4 版用紙 2
枚以内

・マージンは, 上下に 30mm, 左右に 20mm
で設定

・研究題目, 発表者, 所属, キーワードを
上段 (30mm 程度) に記入

・本文は 2 段組が望ましい

<趣 旨>

海と陸が接する浅海域である沿岸は, 陸域と外洋そし
て大気の変化を強く受ける海域である. 西日本の沿岸・
内湾域に着目すると, 有明海や周防灘などの多くの海域
で赤潮や貧酸素水塊等の海洋環境問題を抱えている. ま
た, 日本南岸には黒潮, 対馬海峡には対馬暖流が流れて
おり, 外洋水の浸入や外洋擾乱が沿岸域に到達する. こ
のような沿岸域の様々な時空間スケールの現象を解明す
るために, 個々の研究機関等では, 定点連続観測や定線
定期観測等のモニタリングが行われている. 本シンポジ
ウムでは, 九州沖縄地区で行われている沿岸海洋モニタ
リングの情報をもちより, その研究結果について理解を
深める場とするだけでなく, モニタリングの現状の問題
点・課題を取り上げ, 今後の方向性を議論する.

一般講演の募集要領

締 切 : 平成 19 年 9 月 14 日 (金) 必着

事 項 : 講演題目, 講演者所属・氏名, 100 字程度
の略要旨 (fax, e-mail 可)

・一般講演の採否結果は, 9 月下旬までに通知
します.

・e-mail がある場合は, メールアドレスをお
知らせ下さい.

申込先 : 〒759-6595 下関市永田本町 2-7-1

独立行政法人 水産大学校

海洋生産管理学科

滝川哲太郎